

保護者とつながる「PTA活動」 ● 交流と情報を大切にするPTA

熱血☆東応援団の取り組み

小中学校に比べて通学圏が広い高校では、保護者同士や先生とのつながりが希薄になりがちです。そこで、メールでお知らせ配布を連絡したり、先生が参加しやすい日時で懇親会を開くなど、工夫をこらして取り組んでいます。

1 架け橋としてのPTA

世の中の多くのトラブルは、ちょっとした誤解や行き違いに端を発しています。これは、正しい情報や関係者同士の信頼関係が不足したときに顕著になると思います。

小中学校に比べて高校は通学圏が広域なので、保護者が学校や他保護者と地理的に疎遠になりがちです。また子どもたちは、高校生にもなると、保護者との会話が少なくなったり、学校からの文書類を家庭に届けないことも多くなります。それ故、特に高校PTAの場合、その主な役割のひとつは、保護者・先生・生

徒をつなぐ架け橋になることであろうと思います。

2 八王子東高校について

(1) 本校の概要

東京都立八王子東高等学校は、都心から約30km、八王子市の東端部に位置しています。鉄道利便性はやや劣りますが、区画整然として落ち着いた住宅地域の中にあります。


クラス数は、各学年8クラスの計24学級。生徒数は1000名弱です。

東京都の進学指導重点校の1校に早くから指定され、生徒・保護者・学校のいづれもが進学について高い目標を持って

東京都立八王子東高等学校
前保護者と教職員の会長

山口徹雄

profile



【やまぐち・てつお】
昭和38年東京都生まれ。不動産鑑定士、会社経営。これまでに日野市立日野第六小学校PTA会長、日野市立小中学校PTA協議会会長を務める。趣味は読書、ゴルフ、テニス。最近のモットーは「大人になれ」。

います。同時に、部活動や行事も大切にしています。



3泊4日のスキー教室

(2) 土曜日授業と保護者会

本校では、年間20日、土曜日に授業を行い、うち10日は公開授業になっていきます。保護者会も土曜日に行われ、保護者出席率は8〜9割に達しています。

土曜日の活用は、多くの保護者に、学校に足を運ぶ機会を提供しています。保護者会のほかに個人面談もあり、保護者への情報提供や話し合いが密度濃く行われています。

3 PTAの概要

本校PTAは、学校の開校時（昭和51年）に発足し、今日に至っています。名称はPTA（保護者と教職員の会）ですが、活動の主体は保護者であり、教職員は顧問的なスタンスでかかわっています。PTAの役職者人数は次のとおりです（教職員を含まない保護者の概数）。

- ・ 役員 9名
 - ・ 学年委員 72名 \parallel 3名 \times 8組 \times 3学年
 - ・ 広報委員 72名 \parallel 3名 \times 8組 \times 3学年
 - ・ 文化委員 48名 \parallel 2名 \times 8組 \times 3学年
- 以上の合計人数は約200名ですので、生徒数の2割を超えています。毎年、こ

れだけの役職者を揃えるのは簡単なことではありませんが、裾野が広く、一般保護者との距離が遠くないPTAになっていると思います。

なお上記役職者のうち、その中心メンバーが兼務する形で、3つの特別委員会（役員推薦、ホームページ、予算）が別に組織されています。また2つの同好会があります。

大所帯のPTAですが、活動内容はオーソドックスで、典型的なPTA活動をしつかりと丁寧に行っています。

役職者や担当の先生は、PTA活動の積み重ねを通じて、お互いを理解し、一緒に汗を流した仲間意識も自然に育まれていきます。

4

人間関係が深まる 懇親会

(1) さまざまな懇親会

PTAでは、クラスごとの懇親会を、全クラスが毎年行っています。懇親会の計画にあたっては、担任の先生が極力参加できるように日時を設定しています。

懇親会は、街中の飲食店で行われることが多く、食事のほかアルコールもつき



和やかな雰囲気での1学年役職者の合同懇親会

ます。このクラスごとの懇親会のほかに、PTAの役職者を対象に、次のような懇親会も企画され、こちらにも多くの先生方が出席してくださいます。

- ・ 新旧役職者の歓送迎会（5月）約90名
 - ・ 各学年の役職者懇親会（6月）各50名
 - ・ 熱血☆東応援団懇親会（秋口）約90名
- これらの懇親会で、PTAの中心メンバーと先生方との親睦が図られ、さまざまな活動に広がっていきます。

熱血☆東大応援団懇親会で「翼をください」を合唱



春の研修旅行でいっそう親睦が深まる（ドイツ村にて）

(2) 人間関係の構築

懇親会は、月並みですが、人間関係構築の近道です。保護者は、話のできる知り合いや、裏話を含めて学校や生徒の情報を、懇親会で得ることが出来ます。具体的な話のネタがあると、我が子との会話も弾みます。

先生方にとっては、宴席ではあっても各保護者に対して相応の気遣いが必要でしょうから、仕事の延長のようでも申し訳ない、とも感じますが、教育活動展開のうえで貴重な手がかりを先生方も得られていると思います。

5 委員会活動

(1) 学年委員会

学年委員会は、各学年ごとの講演会と、懇親会開催を活動の柱にしています。その他、ミニコンサート・料理教室・卒業を祝う会等を行い、クラスや学年での和の形成に努めています。保護者会の補助も行います。

(2) 文化委員会

文化委員会は、例年、次のような文化活動を企画・実施しています。

■春の研修旅行

H 19 東大浅草お台場

H 20 赤城高原 ドイツ村

■秋の芸術鑑賞

H 19 国立劇場 歌舞伎

H 20 劇団四季 キャッツ

行事の参加者は90〜120名位で、参加費の一部をPTA会計から補助しています。

春の研修旅行では、貸し切りバスの中でのお話やゲームを通じて、参加者の親睦が深まります。先生も参加しています。

(3) 広報委員会

広報委員会は、本校PTAの自慢のひとつである広報誌『志蓮伽之（しらかし）』を年に3号発行しています。

PTA独自の視点からリアルに捉えられた生徒たちや学校に関するたくさん情報カラフルに満載されており、保護者は（生徒自身も）、楽しみつつ学校を知ることが出来ます。

広報誌編集のための取材活動に対しては、学校側に格別の理解をいただいております。「天下御免の取材チーム」は、あらゆる場面で活躍しています。



『志邏伽之』は毎号、2000部＋αを発行しており、一定部数は学校に渡し、中学生に対して学校が行うリクルート活動の重要ツールとして利用してもらっています。

6 IT技術の活用

(1) 一斉配信メール

民間のメール配信システムを利用して、PTAから、保護者や生徒にメールを一斉配信しています。

クラス親睦会や文化行事などのお知らせ文書を配布したときは、配信メールでその旨を連絡し、通知が行き渡るようにしています。学校側からもメール配信は可能で、保護者会のお知らせ等が配信されています。

保護者や生徒は、事前に指定アドレスに空メールを打ってアドレス登録を行います。登録率は、概ね8割を超えています。

(2) 電子メール

また、役職者間の連絡は一般の電子メ

ールが中心になっています。学校との連絡にも電子メールを使うことがあります。CC（カーボンコピー）を付けることで、関係者に情報を共有してもらい、行き違いや誤解の発生を減らしています。

(3) ホームページ

平成16年度から、PTA独自のホームページを公開しています。毎年度始めに、関係者の挨拶や年間計画などを掲載し、以後は、主要行事のお知らせや結果報告などを逐次追加更新していきます。

ホームページによって、一般会員へ発信できる情報量が飛躍的に増えています。また、PTAの役職者にとっては、電子資料室的な役割を果たしています。

7 おわりに

本校では、保護者同士や先生との人的なつながりが大きな財産になっています。

一般会員の視点を忘れることなく、会員に対し、交流の機会と情報を提供し続け、学校に愛着をもつ保護者を増やしていくこと。それが、「保護者」とつながるPTAのひとつのあり方であると思います。